

みずほCustomer Desk Report 2018/05/17号(As of 2018/05/16)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.34
TKY 9:00AM	110.29	1.1821	130.39	1.3502	0.7468
SYD-NY High	110.40	1.1854	130.64	1.3520	0.7523
SYD-NY Low	110.03	1.1763	129.55	1.3456	0.7447
NY 5:00 PM	110.40	1.1807	130.33	1.3493	0.7516
NY DOW	24,768.93	62.52	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,398.30	46.67	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,722.46	11.01	米国2年債	2.5913	1.68bp
日経平均	22,717.23	▲ 100.79	米国5年債	2.9435	2.75bp
TOPIX	1,800.35	▲ 4.80	米国10年債	3.1029	3.15bp
シゴ日経先物	22,720	▲ 35.00	独10年債	0.6030	▲ 4.10bp
ロンドンFT	7,734.20	11.22	英10年債	1.5015	▲ 1.45bp
DAX	12,996.33	26.29	豪10年債	2.8795	5.40bp
ハンセン指数	31,110.20	▲ 41.83	USDJPY 1M Vol	7.00	▲ 0.05%
上海総合	3,169.57	▲ 22.55	USDJPY 3M Vol	7.35	0.11%
NY金	1,291.90	1.60	USDJPY 6M Vol	7.83	0.06%
WTI	70.93	▲ 0.38	USDJPY 1M 25RR	-0.45	Yen Call Over
CRB指数	203.76	0.31	EURJPY 3M Vol	7.80	0.44%
ドルインデックス	93.39	0.17	EURJPY 6M Vol	8.17	0.26%

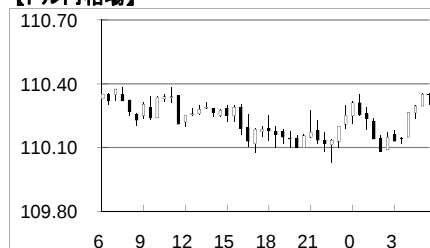
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月16日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)	1Q -0.6%	-0.1%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	4月 0.3%/1.2%	0.3%/1.2%
	21:30	米 住宅着工件数	4月 1287K	1310K
	21:30	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁「逆イールド起きないようにするのが責務」		

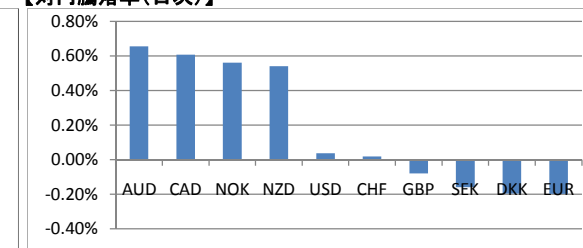
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月17日	08:50	日 コア機械受注(前月比/前年比)	3月 -3.0%/0.3%	2.1%/2.4%
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	4月 20.0k/5.5%	4.9k/5.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	215k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	5月 21.0	23.2
	23:45	米 カシカル・ミネアポリス連銀総裁 講演		
5月18日	02:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-110.80	1.1750-1.1850	130.00-131.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円は小幅に上昇。米朝会談実現の不透明感が強まったことやイタリアの政治リスクが意識されてユーロが下落する展開に、ユーロ/円は129円台半ばまで下落。ドル円もつれて一時110.03円まで下落するが、米10年債利回りが3.1%の似せる展開に、その後はじりじりと値を上げ、110円台半ばでクローズした。本日のドル円は上値重い推移を予想する。今週は月半ばということもあり重要指標の発表が限定的となる中、ユーロ圏のファンダメンタルズ懸念が意識されており、ドルは相対的に買われやすい地合いが継続している。ドル円については110円台にのせていることから、これからの一段の上昇には材料不足感もあり、上値の重さが意識されよう。

東京	前期比年率▲0.6%成長となった本邦第1四半期GDPの結果に対しての反応は薄く、ドル円は110.29レベルでスタート。その後、一時110.38まで上昇する場面もあったが、上値は限定的となり、110.29レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.29レベルでオープン。動意薄の中、やや円高方向に調整し110.18レベルでNYに渡った。ユーロは、1.1828レベルでオープンすると、一時的に買いが入るも、イタリアの連立協議でイタリア債務の免除をECBIに要請する可能性（後に両党は否定）が報じられイタリア国債が値を下げ中、ユーロも売られる展開に、結局1.1787レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3510レベルで始まった。ドルがユーロで値を切り上げる中、ポンドに対しては買われ1.3487レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は110.18レベルでオープン。朝方は米4月建設許可件数が予想とほぼ一致したものの、4月住宅着工件数が予想を下回ったこと、またユーロ円が更に下落したこと受け、ドル円は安値110.03まで下落する。その後は米金利上昇を受けたドル買いに、一旦110.35まで戻した。午後に入ると、利益確定の売りに110.08まで反落したものの、終盤に掛けて、米10年債金利が3.1%へ上昇する展開に再びドル買いが優勢となり、ドル円は高値110.40まで戻し、同水準でNYクロス。ユーロは、イタリアの連立協議でECBIに対し2500億ユーロの債務減免を求める計画があると報じられたことからユーロ売りが強まり、1.1787レベルでNYオープン。同盟の経済担当責任者のホルギ氏が前述の報道を否定したことから1.1820まで戻すが、その後戻り売りに1.1778まで反落。午後も1.1820まで再び買い戻される局面もあったものの、このレベルはレジスタンスとして意識されたことや、米金利が上昇する動きを受けたドル買いに上値を抑えられ、1.1807レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:橋・田家